

広 報 資 料

(市政 , 経済同時)

平成 16 年 10 月 15 日
京 都 市 産 業 観 光 局
(担当 : 商工部経済企画課 222-3334)
(財) 京 都 市 中 小 企 業 支 援 セ ン タ ー
(担当 : 経営支援部企業おうえん係 211-9311)

中小企業の景況について (第 72 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 景気動向調査の概要

景気は引き続き回復基調

今期 (平成 16 年 7 月 ~ 9 月期) の主要 3 指標 D I (企業景気 D I , 生産・販売量 D I , 経常利益 D I) は製造業で下降したものの、非製造業が回復し、全業種では改善を示した。特に、企業景気 D I は、第 67 回 (平成 15 年 4 月 ~ 6 月期) から 6 期連続して上昇した。6 期連続の上昇は第 7 回 (昭和 63 年 4 月 ~ 6 月期) 以来 16 年ぶりである。

来期 (平成 16 年 10 月 ~ 12 月期) は 3 指標 D I で製造業、非製造業ともに改善が進むと予測しており、特に非製造業では製造業の水準近くまで回復するとみている。

< 今期実績 平成 16 年 7 月 ~ 9 月期 >

今期 (平成 16 年 7 月 ~ 9 月期) の全業種の主要 3 指標 D I は、企業景気 D I が 1.0 ポイント、生産・販売量 D I が 1.5 ポイント、経常利益 D I が 0.3 ポイント上昇し、引き続き回復基調を維持している。

	企業景気 D I	生産・販売量 D I	経常利益 D I
全 業 種	- 14.9 (1.0)	- 14.5 (1.5)	- 21.0 (0.3)
製 造 業	- 6.1 (4.4)	- 5.7 (4.5)	- 12.2 (2.6)
非 製 造 業	- 23.5 (6.2)	- 23.9 (8.0)	- 29.5 (3.0)

3 指標 D I が上昇した主な要因は、機械の一般・精密機械が、前期に引き続き液晶・半導体製造装置や環境関連、自動車関連からの受注残を抱え高水準の生産を維持したほか、その他の製造業、小売業、サービス業が景気回復傾向による消費者心理効果で需要が好調だったことが挙げられる。また、小売業は、五輪効果で液晶テレビ、DVDなどのデジタル家電が、猛暑の影響でエアコン等の夏場商品が売り上げを伸ばした。

主要 3 指標 D I がいずれも上昇した業種は 3 業種、いずれも下降した業種も 3 業種であった。

3 指標上昇業種	企業景気 D I	生産・販売量 D I	経常利益 D I
その他の製造業	- 17.5 (6.3)	- 17.5 (13.4)	- 22.5 (9.2)
小 売 業	- 33.3 (16.7)	- 32.2 (15.6)	- 38.9 (14.0)
サービス業	- 7.9 (9.1)	- 10.8 (10.8)	- 12.0 (9.7)
3 指標下降業種	企業景気 D I	生産・販売量 D I	経常利益 D I
染 色	- 37.8 (27.5)	- 35.1 (24.7)	- 29.7 (12.5)
窯 業	- 30.8 (2.8)	- 34.6 (10.6)	- 50.0 (10.0)
飲食店・宿泊業	- 50.0 (25.0)	- 36.3 (11.3)	- 44.5 (19.5)

< 来期予測 平成 16 年 10 月～12 月期 >

来期(平成 16 年 10 月～12 月期)の全業種の主要 3 指標 D I は、企業景気 D I が 8.8 ポイント、生産・販売量 D I が 7.4 ポイント、経常利益 D I が 6.3 ポイント上昇し、さらに改善が進むと予測している。

来期は 14 業種中 9 業種までが 3 指標とも上昇すると予測している。特に、非製造業での回復傾向が強く、全業種でも今期伸びが鈍化した回復基調が再び上昇に転じるとみている。

なお、景気回復の牽引役であった金属、機械は原材料価格が高水準で推移すると予測しているため、やや厳しくなるとみている。

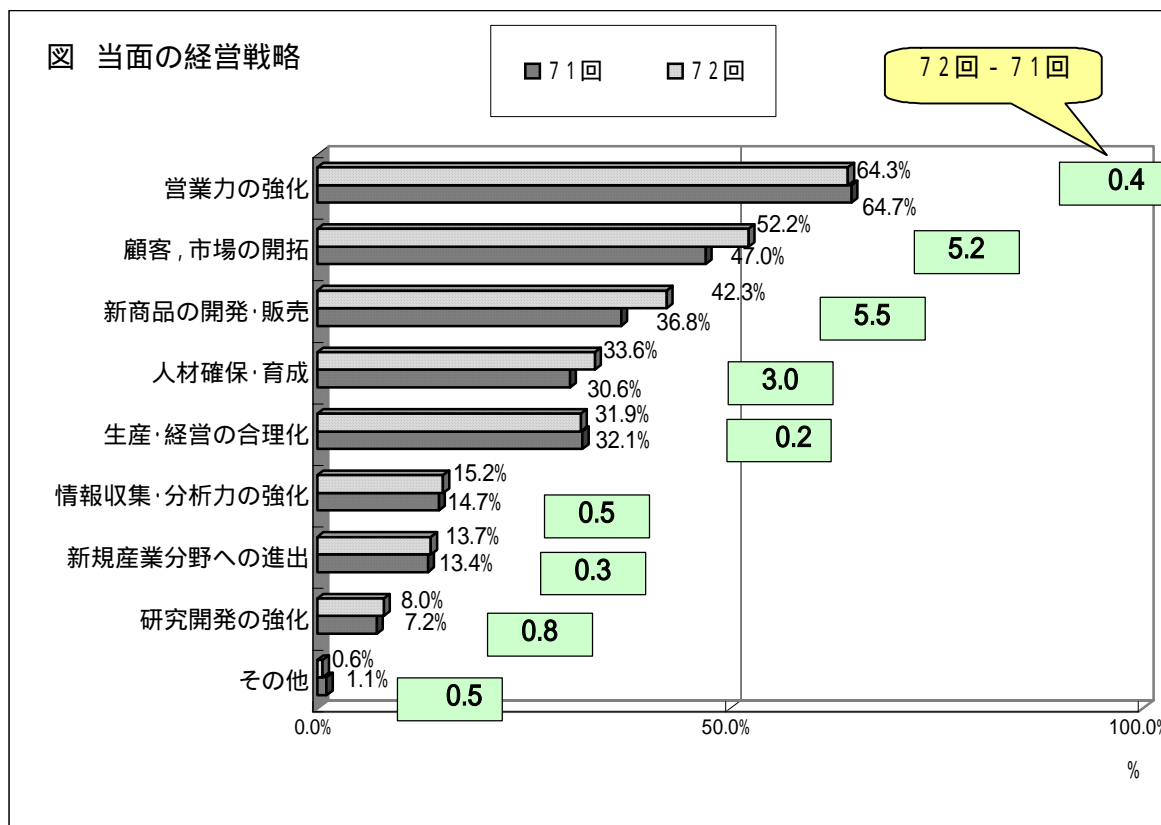
	企業景気 D I	生産・販売量 D I	経常利益 D I
全 業 種	- 6.1 (8.8)	- 7.1 (7.4)	- 14.7 (6.3)
製 造 業	- 4.1 (2.0)	- 5.4 (0.3)	- 11.7 (0.5)
非 製 造 業	- 7.9 (15.6)	- 8.8 (15.1)	- 17.6 (11.9)

主要 3 指標 D I がいずれも上昇と予測している業種は 9 業種におよび、いずれも下降すると予測している業種は 2 業種であった。

3 指標上昇業種	企業景気 D I	生産・販売量 D I	経常利益 D I
西 陣	7.7 (23.1)	3.9 (27.0)	3.8 (30.8)
印 刷	- 8.0 (15.1)	- 13.0 (15.0)	- 17.4 (12.3)
窯 業	- 20.0 (10.8)	- 24.0 (10.6)	- 40.0 (10.0)
その他の製造業	- 7.5 (10.0)	- 7.5 (10.0)	- 12.5 (10.0)
卸 売 業	- 9.4 (3.8)	- 9.8 (2.0)	- 11.3 (4.0)
小 売 業	- 13.3 (20.0)	- 15.3 (16.9)	- 18.7 (20.2)
情報通信業	40.0 (25.0)	35.0 (30.0)	20.0 (40.0)
飲食店・宿泊業	- 11.8 (38.2)	- 6.4 (29.9)	- 26.4 (18.1)
建 設 業	- 34.3 (5.7)	- 36.7 (13.3)	- 47.0 (3.0)
3 指標下降業種	企業景気 D I	生産・販売量 D I	経常利益 D I
金 属	0.0 (26.9)	3.8 (23.1)	3.9 (23.0)
機 械	5.5 (31.3)	13.9 (25.6)	0.0 (21.1)

経営戦略は「顧客，市場の開拓」，「新商品の開発・販売」の比率が伸びる

当面の経営戦略は、「顧客，市場の開拓」，「新商品の開発・販売」，「人材の確保・育成」の比率が伸びたが，特に「顧客，市場の開拓」，「新商品の開発・販売」といったマーケティングに力を入れようとする動きが目立った。



中小企業の定義（「中小企業基本法」に基づく）

業種	従業員規模・資本金規模
製造業その他	300人以下又は3億円以下
卸売業	100人以下又は1億円以下
小売業	50人以下又は5千万円以下
サービス業	100人以下又は5千万円以下

DI = Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略

「上昇」「増加」したなどとする企業割合から「下降」「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値。

2 調査方法等

1. 調査目的 京都市域中小企業の経営実態，経営動向を把握し，本市経済行政に反映させる。
2. 調査時点 平成16年9月
3. 調査対象期間 平成16年7月～9月期（3箇月実績）
平成16年10月～12月期（3箇月予測）
4. 調査方法 （財）京都市中小企業支援センターによるアンケート調査（郵送）
5. 回答企業数 対象企業数 800企業 回答502企業（回答率62.8%）

業種	企業数	業種	企業数
製造業	246	卸売業	53
西陣	(26)	小売業	61
染色	(37)	情報通信業	20
印刷	(26)	飲食，宿泊業	36
窯業	(26)	サービス	51
化学	(27)	建設業	35
金属	(26)	不明	0
機械	(38)	合計	502
その他	(40)		

* 製造業の（ ）は内訳 「その他」には，工芸関連業種を含む。

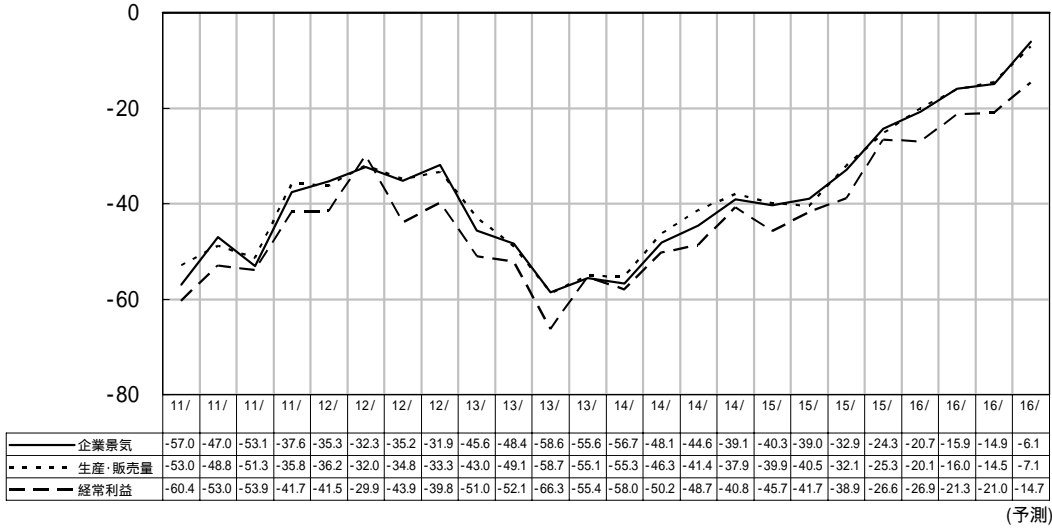
この広報資料の概要については，インターネットホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.kyoto.jp/sankan/keiki/index.htm>

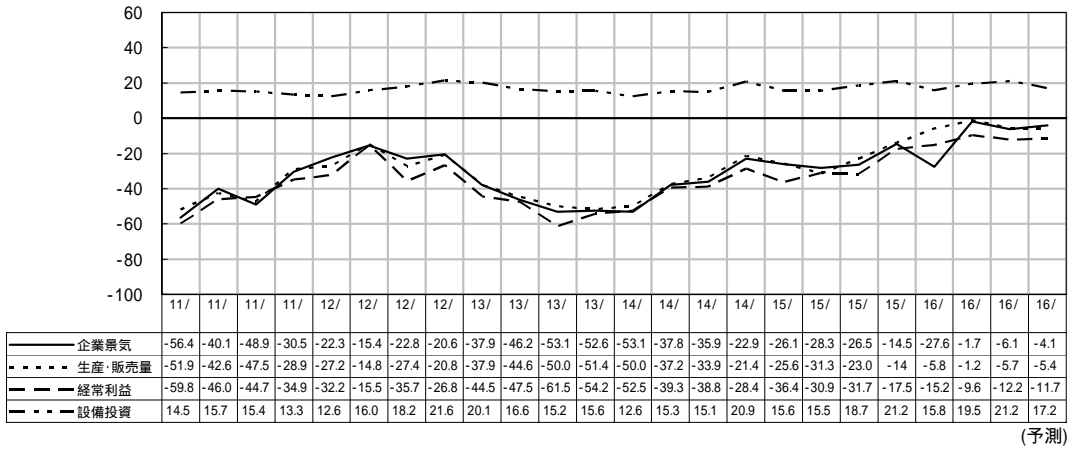
DI値の推移

1月～3月, 4月～6月
7月～9月, 10月～12月

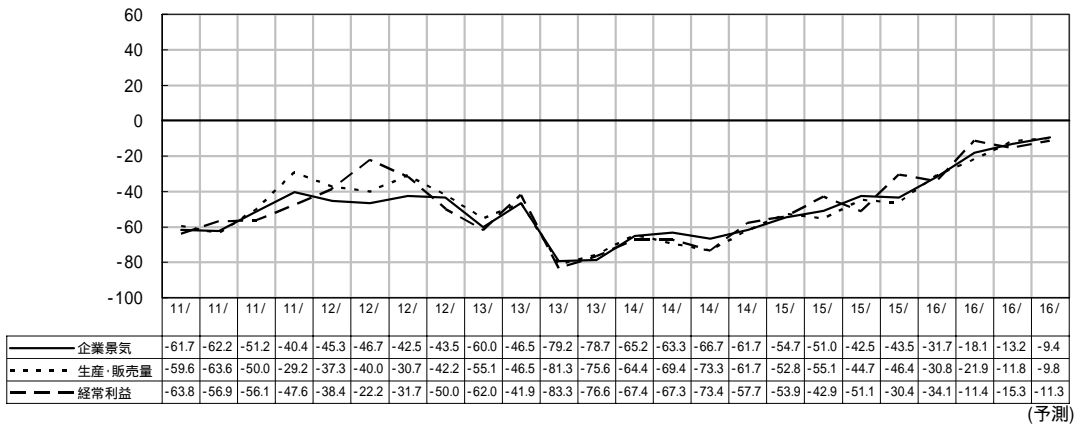
全業種



製造業

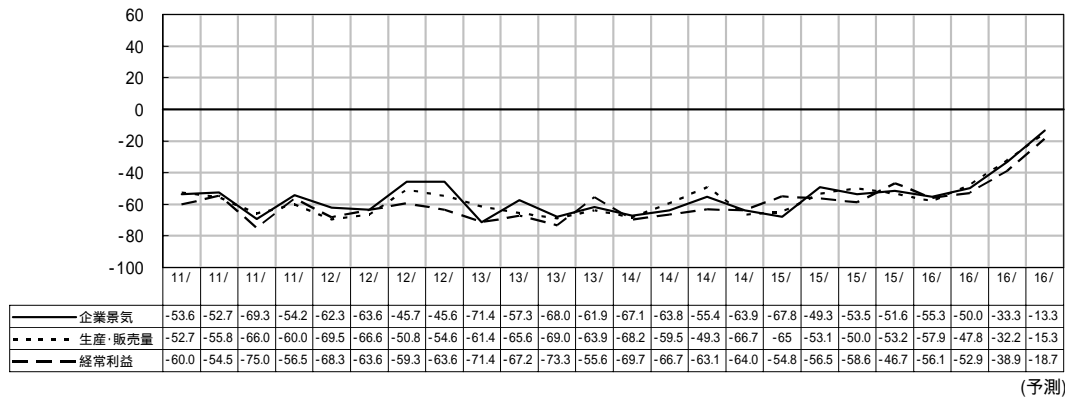


卸売業

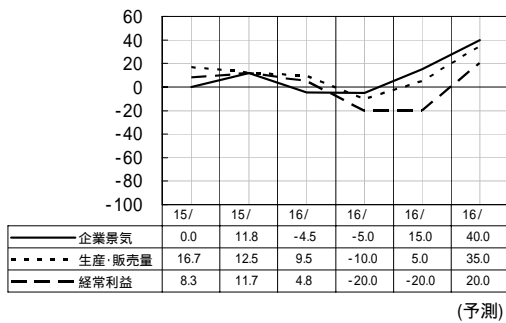


1月~3月, 4月~6月
7月~9月, 10月~12月

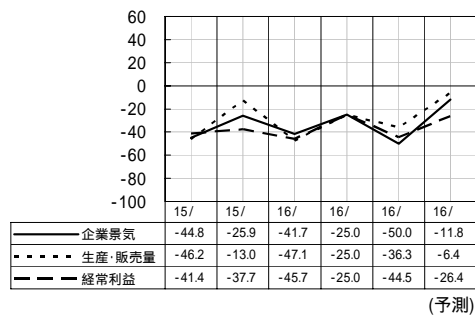
小売業



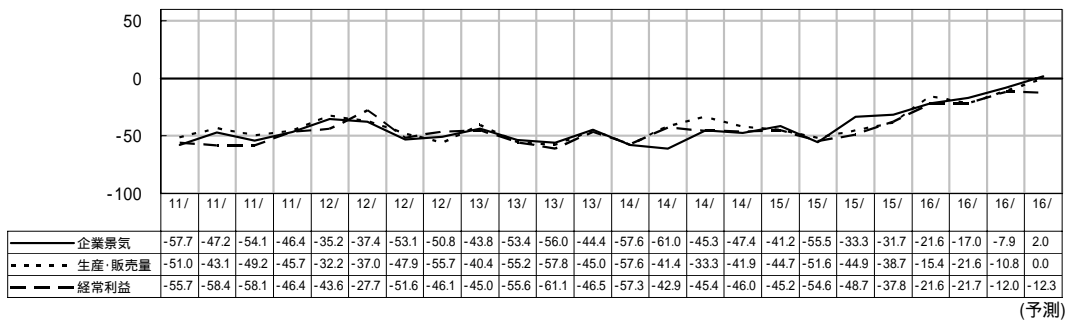
情報通信業



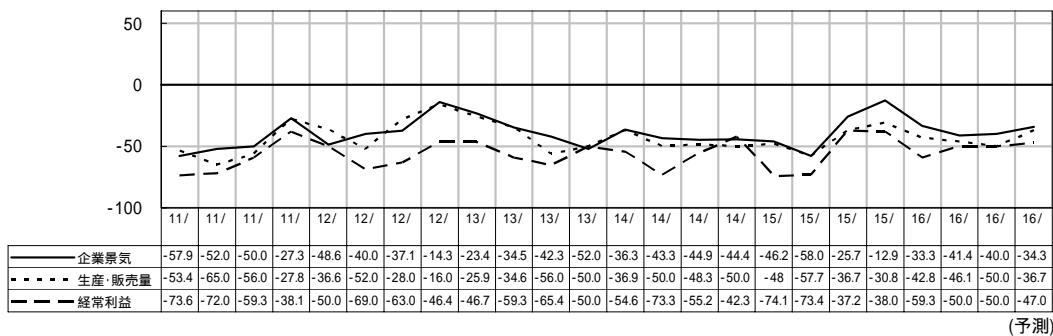
飲食, 宿泊業



サービス業



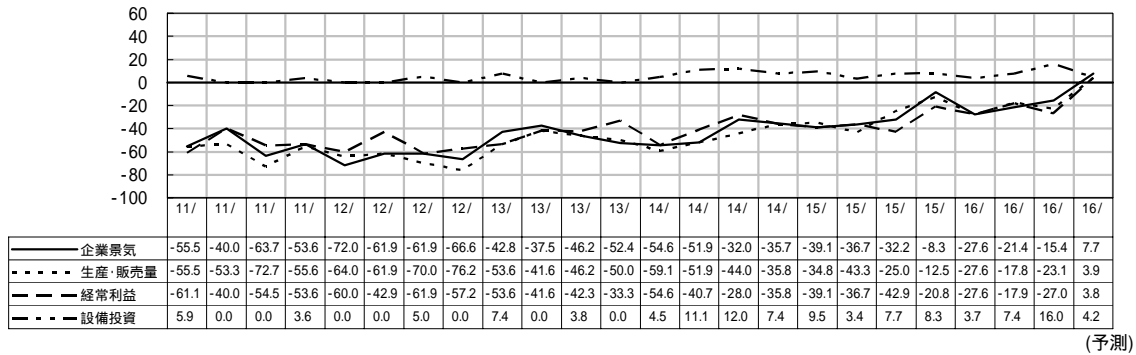
建設業



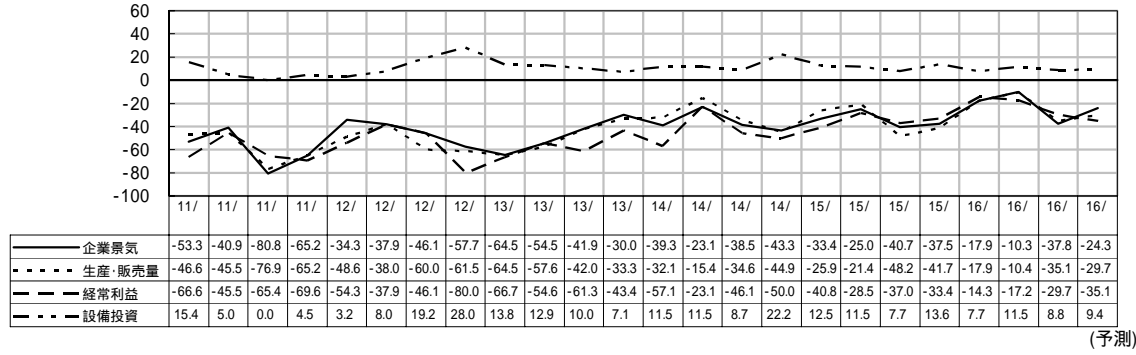
製造業のDIの推移

1月~3月, 4月~6月
7月~9月, 10月~12月

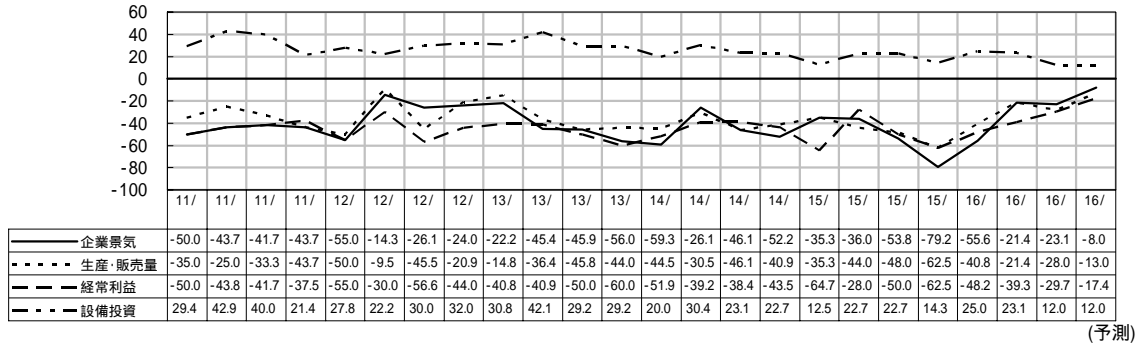
西陣



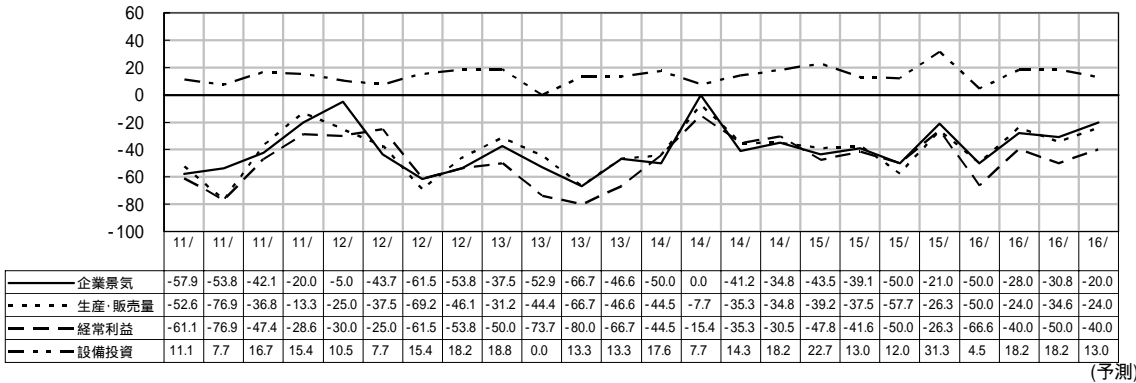
染色



印刷

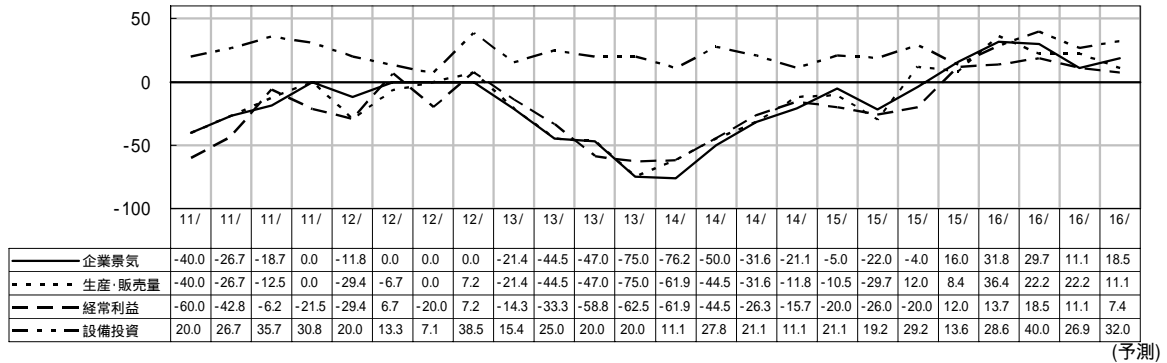


窯業

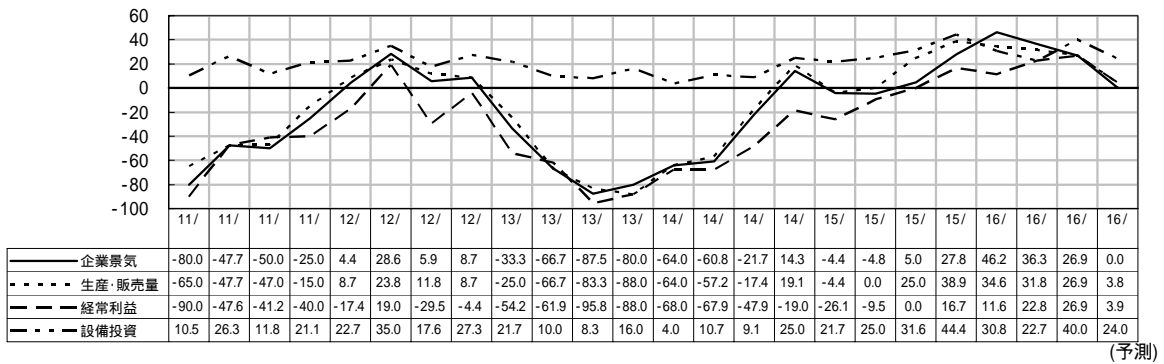


化学

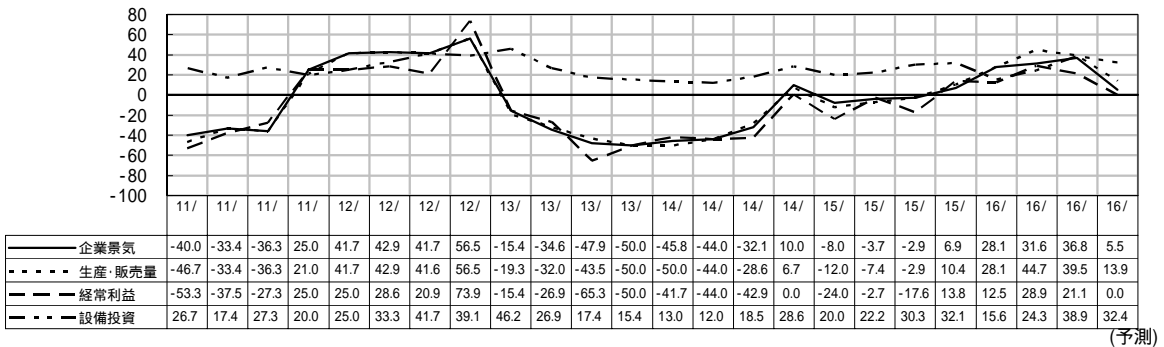
1月~3月, 4月~6月
7月~9月, 10月~12月



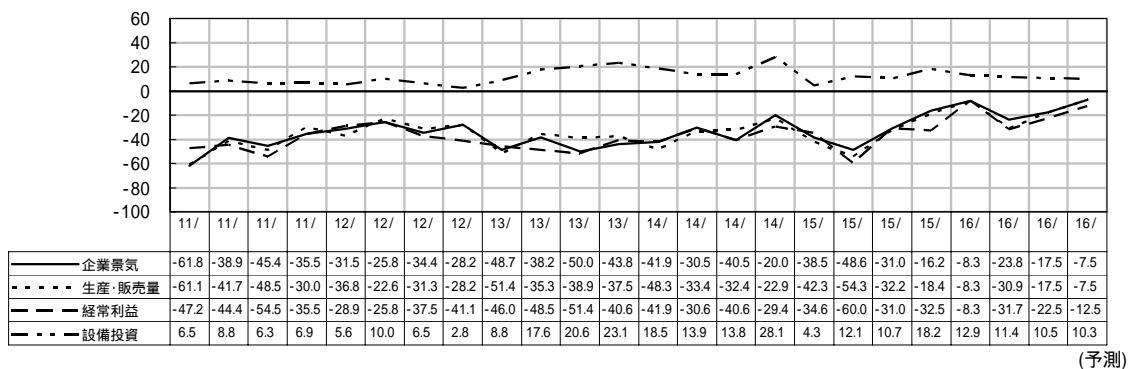
金属



機械

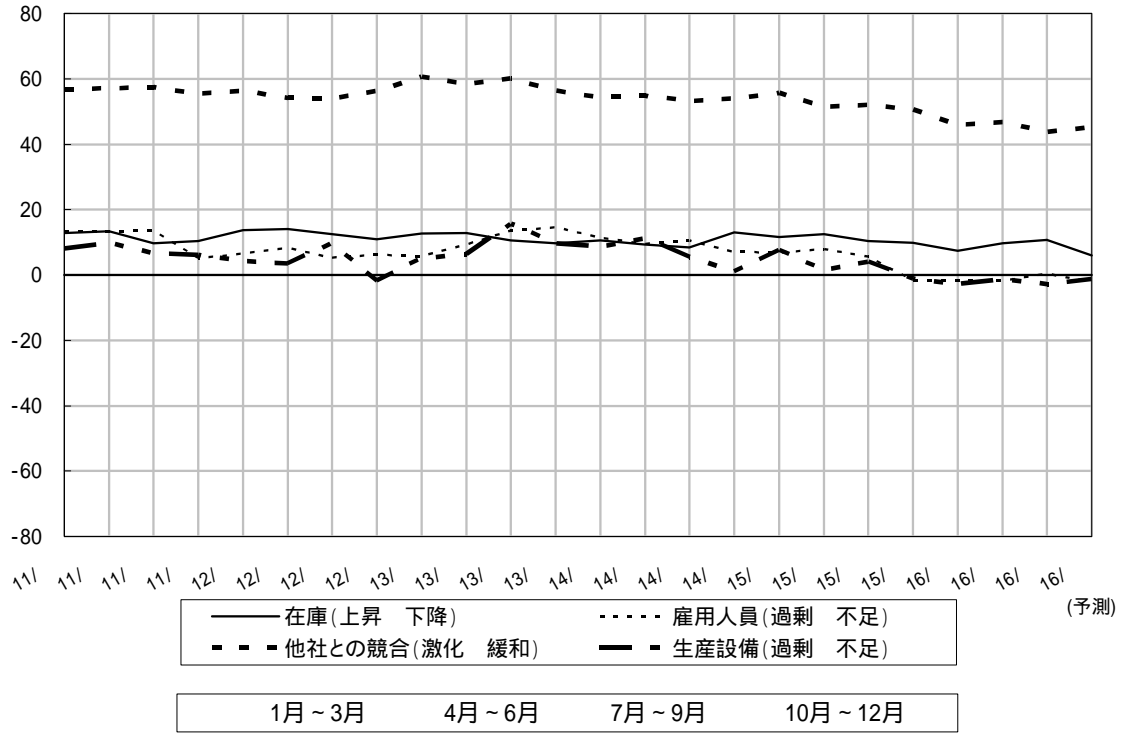


その他の製造業

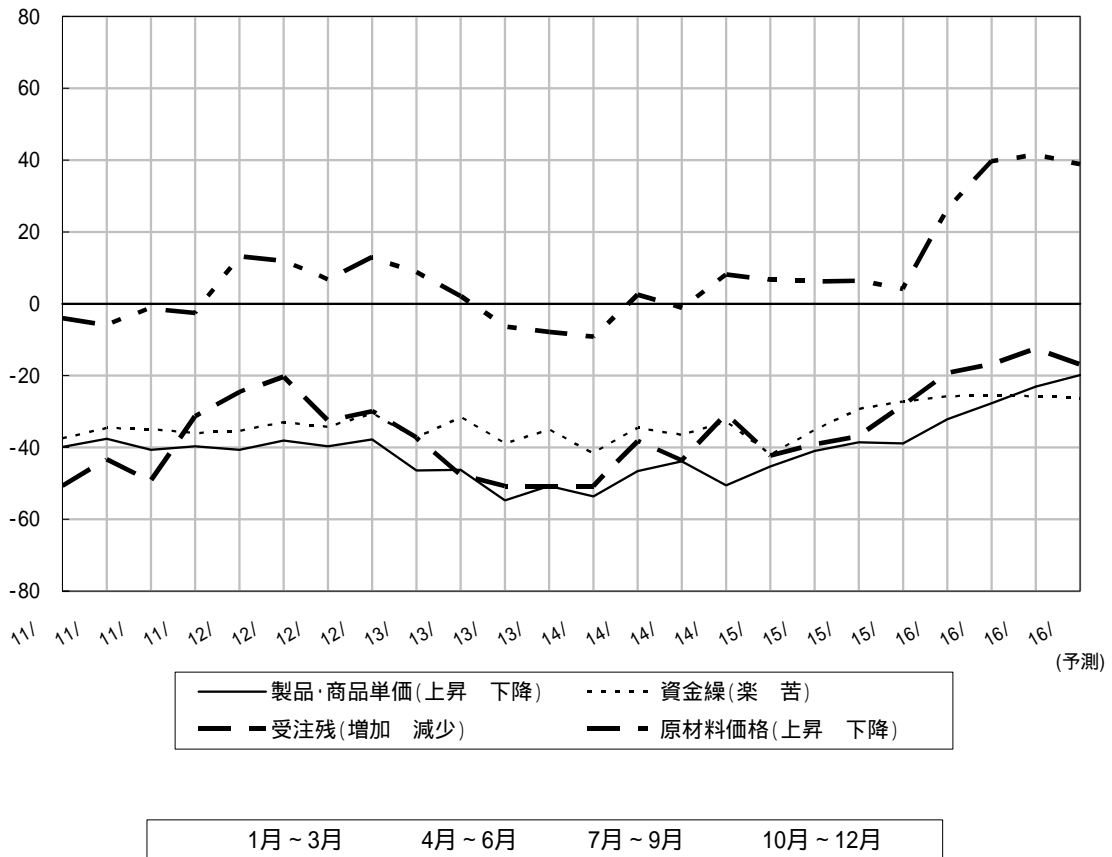


DI値の推移

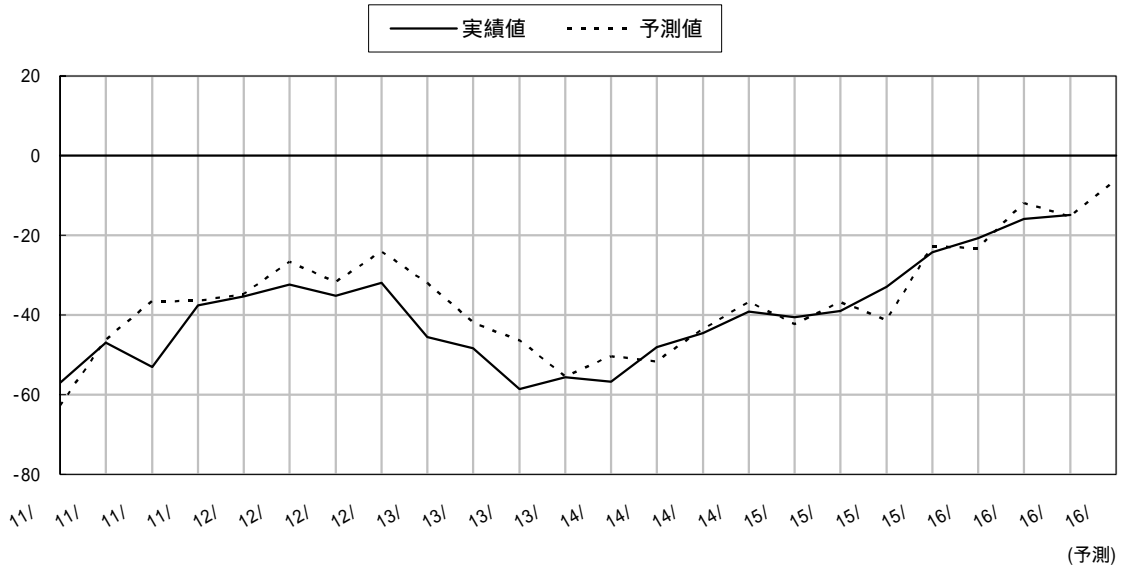
全業種



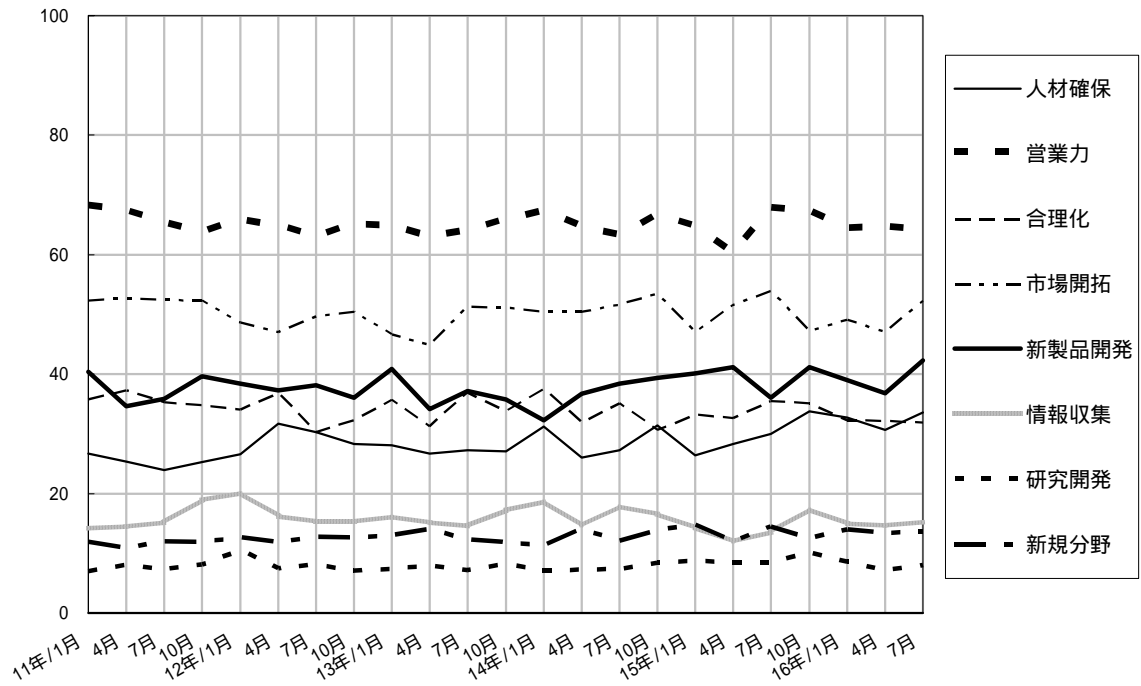
全業種



企業景気DIの予測値と実績値の比較



今後の経営戦略(複数回答) 結果の推移



3 調査結果

1 景気動向調査……………	11	資金繰り……………	21
企業景気……………	11	他社との競争……………	22
生産・販売量……………	13	受注残（製造業のみ）……………	23
経常利益……………	15	原材料価格（製造業のみ）……………	24
製品・商品単価……………	17	生産設備（製造業のみ）……………	25
在庫……………	19	設備投資（製造業のみ）……………	26
雇用人員……………	20	2 当面の経営課題……………	27

<各種業ごとのD I 値の変動について>

「 」: 前期と今期又は今期と来期を比較し、D I 値が下降している場合

(1) 景気動向調査

【 企業景気】

実績値

今期（平成 16 年 7 月～9 月期）の本市中小企業の企業景気は、業況判断D I がマイナス 14.9 となり、前期（平成 16 年 4 月～6 月期）より 1.0 ポイント上昇した。企業景気D I は、第 67 回（平成 15 年 4 月～6 月期）より 6 期連続して上昇した。6 期連続の上昇は第 7 回調査（昭和 63 年 4 月～6 月期）以来 16 年ぶりである。

今期は、製造業（今期： 6.1，前期： 1.7）は前期より 4.4 ポイント下降したものの、非製造業（今期： 23.5，前期： 29.7）は 6.2 ポイント上昇し、景気回復基調を維持した。

製造業では、機械が好調で第 69 回（平成 15 年 10 月期～12 月期）以来、4 期連続してプラスを維持し、D I 値も每期上昇を続け、景気回復の牽引業種となっている。液晶・半導体製造装置や環境関連、自動車関連で高水準の生産が続き、電子部品等の I T 関連業種でも上昇基調を維持している。

他の製造業では、その他の製造業（今期： 17.5，前期： 23.8）が 6.3 ポイント上昇し、西陣（今期： 15.4，前期： 21.4）が 6.0 ポイント上昇したものの、他の業種は下降し一服感がうかがえる。その他の製造業は猛暑の効果もあり豆腐等の食品が好調だった。

非製造業では情報通信業（今期：15.0，前期： 5.0）が 20.0 ポイントと大幅に上昇し、小売業（今期： 33.3，前期： 50.0）も 16.7 ポイント改善したほか、飲食店、宿泊業（今期： 50.0，前期： 25.0）を除く他の業種も改善傾向を示した。

詳細にみると、情報通信業は顧客企業において収益の回復傾向、設備投資の増加傾向を受け上昇した。小売業は五輪効果でデジタル家電の販売が好調だったのに加え、猛暑の影響でエアコンや氷、U V 関連化粧品等が好調だった。飲食店、宿泊業は回復しつつあったが、五輪観戦や 8 月後半からの天候悪化で業績は下降した。

観光関連（今期： 40.5，前期：5.4）は、7 月当初は当地を主題にしたドラマ放映効果が持続していたが、猛暑のため入り込みが鈍化したところへ五輪のテレビ観戦、台風の影響が重なって大幅に下降した。

予測値

来期（平成16年10月～12月期）はDIがマイナス6.1と、今期（14.9）より8.8ポイント上昇すると予測している。業種別では製造業で金属（今期：26.9，来期：0.0），機械（今期：36.8，来期：5.5）を除くすべての業種で上昇を予測している。特に、西陣（今期：15.4，来期：7.7）は23.1ポイント上昇し、DIがプラスに転じ水面下を脱すると予測している。西陣は第3回調査（昭和62年4月～6月期）で予測値を調査して以来、初めてのプラスの予測である。

非製造業はすべての業種で上昇を予測しており、特に飲食店・宿泊業（今期：50.0，来期：11.8）が38.2ポイント、情報通信業（今期：15.0，来期：40.0）が25.0ポイント、小売業（今期：33.3，来期：13.3）が20.0ポイントと大幅に上昇すると予測している。また、サービス業（今期：7.9，来期：2.0）が9.9ポイント上昇し、DI値がプラスに転じると予測している。

観光関連（今期：40.5，来期：5.0）は、35.5ポイントと大幅に上昇し、回復に向かうと予測している。

〔企業景気〕

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	前回調査における 16.7-9月期予測	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降		上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降	
全業種	15.9 23.5 / 37.1 / 39.4	14.9 24.2 / 36.7 / 39.1	1.0	15.3 20.0 / 44.7 / 35.3	6.1 22.6 / 48.7 / 28.7	8.8
製造業	1.7 32.2 / 33.9 / 33.9	6.1 27.6 / 38.6 / 33.7	4.4	9.3 24.9 / 40.9 / 34.2	4.1 24.0 / 47.9 / 28.1	2.0
西陣	21.4 17.9 / 42.9 / 39.3	15.4 15.4 / 53.8 / 30.8	6.0	25.0 10.7 / 53.6 / 35.7	7.7 26.9 / 53.8 / 19.2	23.1
染色	10.3 20.7 / 48.3 / 31.0	37.8 5.4 / 51.4 / 43.2	27.5	24.2 10.3 / 55.2 / 34.5	24.3 13.5 / 48.6 / 37.8	13.5
印刷	21.4 28.6 / 21.4 / 50.0	23.1 19.2 / 38.5 / 42.3	1.7	46.4 10.7 / 32.1 / 57.1	8.0 16.0 / 60.0 / 24.0	15.1
窯業	28.0 24.0 / 24.0 / 52.0	30.8 19.2 / 30.8 / 50.0	2.8	28.0 16.0 / 40.0 / 44.0	20.0 16.0 / 48.0 / 36.0	10.8
化学	29.7 51.9 / 25.9 / 22.2	11.1 29.6 / 51.9 / 18.5	18.6	29.7 51.9 / 25.9 / 22.2	18.5 33.3 / 51.9 / 14.8	7.4
金属	36.3 54.5 / 27.3 / 18.2	26.9 50.0 / 26.9 / 23.1	9.4	9.1 36.4 / 36.4 / 27.3	0.0 23.1 / 53.8 / 23.1	26.9
機械	31.6 50.0 / 31.6 / 18.4	36.8 52.6 / 31.6 / 15.8	5.2	33.3 50.0 / 33.3 / 16.7	5.5 33.3 / 38.9 / 27.8	31.3
その他	23.8 16.7 / 42.9 / 40.5	17.5 27.5 / 27.5 / 45.0	6.3	23.8 14.3 / 47.6 / 38.1	7.5 27.5 / 37.5 / 35.0	10.0
非製造業	29.7 15.0 / 40.2 / 44.7	23.5 20.8 / 34.9 / 44.3	6.2	21.1 15.3 / 48.3 / 36.4	7.9 21.3 / 49.4 / 29.2	15.6
卸売業	18.1 20.5 / 40.9 / 38.6	13.2 20.8 / 45.3 / 34.0	4.9	15.9 18.2 / 47.7 / 34.1	9.4 13.2 / 64.2 / 22.6	3.8
小売業	50.0 8.6 / 32.9 / 58.6	33.3 20.0 / 26.7 / 53.3	16.7	30.4 8.7 / 52.2 / 39.1	13.3 20.0 / 46.7 / 33.3	20.0
情報通信業	5.0 30.0 / 35.0 / 35.0	15.0 35.0 / 45.0 / 20.0	20.0	15.0 45.0 / 25.0 / 30.0	40.0 60.0 / 20.0 / 20.0	25.0
飲食店、 宿泊業	25.0 19.4 / 36.1 / 44.4	50.0 16.7 / 16.7 / 66.7	25.0	32.3 11.8 / 44.1 / 44.1	11.8 20.6 / 47.1 / 32.4	38.2
サービス業	17.0 14.9 / 53.2 / 31.9	7.9 23.5 / 45.1 / 31.4	9.1	10.9 15.2 / 58.7 / 26.1	2.0 21.6 / 58.8 / 19.6	9.9
建設業	41.4 6.9 / 44.8 / 48.3	40.0 14.3 31.4 54.3	1.4	34.5 10.3 / 44.8 / 44.8	34.3 14.3 / 37.1 / 48.6	5.7
観光関連 企業	5.4 32.4 / 40.5 / 27.0	40.5 14.3 / 31.0 / 54.8	45.9	16.2 16.2 / 51.4 / 32.4	5.0 20.0 / 55.0 / 25.0	35.5

注) 数字は、小数点以下第2位で四捨五入のため、100%にならないことがある。

【 生産・販売量】

実績値

DIはマイナス14.5と、前期(16.0)より1.5ポイント上昇した。その中で、製造業(今期:5.7,前期:1.2)は4.5ポイント下降し、非製造業(今期:23.9,前期:31.9)は8.0ポイント上昇した。

製造業では、その他の製造業(今期:17.5,前期:30.9)のみが13.4ポイントと上昇した。

非製造業では、飲食店・宿泊業(今期:36.3,前期:25.0)、建設業(今期:50.0,前期:46.1)を除くすべての業種で上昇した。上昇した業種は小売業(今期:32.2,前期:47.8)が15.6ポイント、情報通信業(今期:5.0,前期:10.0)が15.0ポイント、サービス業(今期:10.8,前期:21.6)が10.8ポイント、卸売業(今期:11.8,前期:21.9)が10.1ポイントといずれも10ポイント以上上昇し、製造業に追隨して回復傾向が進んだ。

観光関連(今期:35.0,前期:0.0)は、35.0ポイント下降し、前期の回復から一転して大幅に後退した。

予測値

DIはマイナス7.1と、今期(14.5)より7.4ポイント上昇すると予測している。上昇すると予測している業種は製造業の化学、金属、機械以外のすべての業種で、特に、情報通信業(今期:5.0,来期:35.0)、飲食店、宿泊業(今期:36.3,来期:6.4)、西陣(今期:23.1,来期:3.9)はそれぞれ30.0ポイント、29.9ポイント、27.0ポイントと大幅に上昇を予測し、情報通信業、西陣はプラスを予測している。

観光関連(今期:35.0,来期:10.2)は、24.8ポイント上昇し、かなり回復すると予測している。

【生産・販売量】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	前回調査における 16.7-9月期予測	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少		増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少	
全業種	16.0 24.9 / 34.2 / 40.9	14.5 25.9 / 33.7 / 40.4	1.5	17.0 22.1 / 38.9 / 39.1	7.1 22.6 / 47.6 / 29.7	7.4
製造業	1.2 33.1 / 32.6 / 34.3	5.7 29.4 / 35.5 / 35.1	4.5	10.6 25.8 / 37.7 / 36.4	5.4 24.6 / 45.4 / 30.0	0.3
西陣	17.8 17.9 / 46.4 / 35.7	23.1 11.5 / 53.8 / 34.6	5.3	32.2 10.7 / 46.4 / 42.9	3.9 23.1 / 57.7 / 19.2	27.0
染色	10.4 24.1 / 41.4 / 34.5	35.1 13.5 / 37.8 / 48.6	24.7	24.2 10.3 / 55.2 / 34.5	29.7 13.5 / 43.2 / 43.2	5.4
印刷	21.4 28.6 / 21.4 / 50.0	28.0 16.0 / 40.0 / 44.0	6.6	32.2 21.4 / 25.0 / 53.6	13.0 17.4 / 52.2 / 30.4	15.0
窯業	24.0 24.0 / 28.0 / 48.0	34.6 19.2 / 26.9 / 53.8	10.6	32.0 16.0 / 36.0 / 48.0	24.0 16.0 / 44.0 / 40.0	10.6
化学	22.2 44.4 / 33.3 / 22.2	22.2 33.3 / 55.6 / 11.1	0.0	22.2 48.1 / 25.9 / 25.9	11.1 29.6 / 51.9 / 18.5	11.1
金属	31.8 54.5 / 22.7 / 22.7	26.9 50.0 / 26.9 / 23.1	4.9	4.7 33.3 / 38.1 / 28.6	3.8 26.9 / 50.0 / 23.1	23.1
機械	44.7 57.9 / 28.9 / 13.2	39.5 55.3 / 28.9 / 15.8	5.2	33.3 50.0 / 33.3 / 16.7	13.9 38.9 / 36.1 / 25.0	25.6
その他	30.9 16.7 / 35.7 / 47.6	17.5 30.0 / 22.5 / 47.5	13.4	26.2 16.7 / 40.5 / 42.9	7.5 27.5 / 37.5 / 35.0	10.0
非製造業	31.9 16.1 / 35.9 / 48.0	23.9 22.2 / 31.7 / 46.1	8.0	23.9 18.0 / 40.1 / 41.9	8.8 20.6 / 50.0 / 29.4	15.1
卸売業	21.9 22.0 / 34.1 / 43.9	11.8 25.5 / 37.3 / 37.3	10.1	19.1 19.0 / 42.9 / 38.1	9.8 13.7 / 62.7 / 23.5	2.0
小売業	47.8 13.4 / 25.4 / 61.2	32.2 22.0 / 23.7 / 54.2	15.6	34.4 13.4 / 38.8 / 47.8	15.3 18.6 / 47.5 / 33.9	16.9
情報通信業	10.0 25.0 / 40.0 / 35.0	5.0 35.0 / 35.0 / 30.0	15.0	5.0 40.0 / 25.0 / 35.0	35.0 55.0 / 25.0 / 20.0	30.0
飲食店、 宿泊業	25.0 18.8 / 37.5 / 43.8	36.3 18.2 / 27.3 / 54.5	11.3	33.4 13.3 / 40.0 / 46.7	6.4 19.4 / 54.8 / 25.8	29.9
サービス業	21.6 13.5 / 51.4 / 35.1	10.8 24.3 / 40.5 / 35.1	10.8	16.2 16.2 / 51.4 / 32.4	0.0 24.3 / 51.4 / 24.3	10.8
建設業	46.1 7.7 / 38.5 / 53.8	50.0 10.0 / 30.0 / 60.0	3.9	27.0 19.2 / 34.6 / 46.2	36.7 10.0 / 43.3 / 46.7	13.3
観光関連 企業	0.0 34.3 / 31.4 / 34.3	35.0 15.0 / 35.0 / 50.0	35.0	11.8 20.6 / 47.1 / 32.4	10.2 15.4 / 59.0 / 25.6	24.8

【 経常利益】

実績値

DIはマイナス21.0と、前期(21.3)より0.3ポイント上昇し、前期とほぼ同様に推移した。

製造業では印刷(今期DI: 29.7, 前期: 39.3), 金属(今期: 26.9, 前期: 22.8), その他の製造業(今期: 22.5, 前期: 31.7)を除き、すべての業種が下降した。金属は前期に引き続きプラスを維持し、さらに改善が進んだ。

非製造業では飲食店・宿泊業(今期: 44.5, 前期: 25.0)が19.5ポイントと大幅に下降したが、小売業(今期: 38.9, 前期: 52.9)は14.0ポイント、サービス業(今期: 12.0, 前期: 21.7)は9.7ポイント上昇し、若干利益が回復した。

観光関連(今期: 39.0, 前期: 5.4)は、回復がみられた前期から大幅に下降した。

予測値

DIはマイナス14.7と、今期(21.0)より6.3ポイント上昇すると予測している。特に非製造業で改善を予測する業種が多い。製造業では西陣(今期: 27.0, 来期: 3.8)が30.8ポイント上昇して水面下を脱すると予測し、著しく回復するとみている。

非製造業では、情報通信業(今期: 20.0, 来期: 20.0)がマイナスからプラスに転じて40.0ポイント上昇すると予測し、大幅に回復するとみている。小売業(今期: 38.9, 来期: 18.7)も水面下ながら、20.0ポイント改善すると見通している。

観光関連(今期: 39.0, 来期: 7.5)は、31.5ポイント上昇すると予測し、かなり改善が見込めるとしている。

【 経常利益】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	前回調査における 16.7-9月期予測	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少		増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少	
全業種	21.3 22.5 / 33.7 / 43.8	21.0 22.3 / 34.4 / 43.3	0.3	20.4 20.0 / 39.6 / 40.4	14.7 21.5 / 42.3 / 36.2	6.3
製造業	9.6 28.6 / 33.2 / 38.2	12.2 24.8 / 38.2 / 37.0	2.6	15.3 23.8 / 37.0 / 39.1	11.7 23.3 / 41.7 / 35.0	0.5
西陣	17.9 21.4 / 39.3 / 39.3	27.0 11.5 / 50.0 / 38.5	9.1	28.6 14.3 / 42.9 / 42.9	3.8 26.9 / 50.0 / 23.1	30.8
染色	17.2 20.7 / 41.4 / 37.9	29.7 18.9 / 32.4 / 48.6	12.5	20.7 10.3 / 58.6 / 31.0	35.1 13.5 / 37.8 / 48.6	5.4
印刷	39.3 21.4 / 17.9 / 60.7	29.7 18.9 / 32.4 / 48.6	9.6	44.5 14.8 / 25.9 / 59.3	17.4 17.4 / 47.8 / 34.8	12.3
窯業	40.0 24.0 / 12.0 / 64.0	50.0 11.5 / 26.9 / 61.5	10.0	44.0 16.0 / 24.0 / 60.0	40.0 8.0 / 44.0 / 48.0	10.0
化学	18.5 40.7 / 37.0 / 22.2	11.1 25.9 / 59.3 / 14.8	7.4	25.9 48.1 / 29.6 / 22.2	7.4 29.6 / 48.1 / 22.2	3.7
金属	22.8 45.5 / 31.8 / 22.7	26.9 50.0 / 26.9 / 23.1	4.1	4.5 27.3 / 40.9 / 31.8	3.9 30.8 / 42.3 / 26.9	23.0
機械	28.9 50.0 / 28.9 / 21.1	21.1 39.5 / 42.1 / 18.4	7.8	25.0 47.2 / 30.6 / 22.2	0.0 33.3 / 33.3 / 33.3	21.1
その他	31.7 9.8 / 48.8 / 41.5	22.5 25.0 / 27.5 / 47.5	9.2	34.1 12.2 / 41.5 / 46.3	12.5 25.0 / 37.5 / 37.5	10.0
非製造業	32.5 16.7 / 34.1 / 49.2	29.5 19.9 / 30.7 / 49.4	3.0	25.4 16.3 / 42.1 / 41.7	17.6 19.7 / 43.0 / 37.3	11.9
卸売業	11.4 22.7 / 43.2 / 34.1	15.3 21.2 / 42.3 / 36.5	3.9	9.1 22.7 / 45.5 / 31.8	11.3 18.9 / 50.9 / 30.2	4.0
小売業	52.9 10.0 / 27.1 / 62.9	38.9 15.3 / 30.5 / 54.2	14.0	39.7 10.3 / 39.7 / 50.0	18.7 18.6 / 44.1 / 37.3	20.2
情報通信業	20.0 25.0 / 30.0 / 45.0	20.0 30.0 / 20.0 / 50.0	0.0	0.0 45.0 / 10.0 / 45.0	20.0 45.0 / 30.0 / 25.0	40.0
飲食店, 宿泊業	25.0 19.4 / 36.1 / 44.4	44.5 19.4 / 16.7 / 63.9	19.5	35.3 11.8 / 41.2 / 47.1	26.4 11.8 / 50.0 / 38.2	18.1
サービス業	21.7 19.6 / 39.1 / 41.3	12.0 24.0 / 40.0 / 36.0	9.7	6.8 15.9 / 61.4 / 22.7	12.3 22.4 / 42.9 / 34.7	0.3
建設業	50.0 10.0 / 30.0 / 60.0	50.0 14.7 / 20.6 / 64.7	0.0	50.0 6.7 / 36.7 / 56.7	47.0 11.8 / 29.4 / 58.8	3.0
観光関連 企業	5.4 27.0 / 40.5 / 32.4	39.0 19.5 / 22.0 / 58.5	33.6	16.2 16.2 / 51.4 / 32.4	7.5 20.0 / 52.5 / 27.5	31.5

【 製品・商品単価】

実績値

DIはマイナス23.1と、前期（27.6）より4.5ポイント上昇した。原材料が高騰しているにもかかわらず、原材料の高騰を単価に転嫁できない業種があることがうかがえる。

製造業では、印刷（今期：42.3，前期：57.1）が前期「下降」と回答した企業が減少し、今期は「不変」との回答が増加したため14.8ポイント上昇した。一方、化学（今期：34.7，前期：11.1）は原材料の高騰を価格に転嫁できず、逆に単価を切り下げている企業が増加したためマイナス23.6と下降した。

非製造業では、建設業（今期：32.2，前期：55.6）が23.4ポイント上昇し、やや回復傾向を示した。

予測値

DIはマイナス19.9と、今期（23.1）より3.2ポイント上昇すると予測している。金属（今期：23.1，来期：34.6）、サービス業（今期：27.0，来期：29.7）を除くすべての業種が若干上昇するか不変としている。金属（今期：23.1，来期：34.6）は11.5ポイント下降すると予測し、さらにコストダウンを迫られるとみている。

【製品・商品単価】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降		上昇 / 不変 / 下降	
全業種	27.6 6.6 / 59.2 / 34.2	23.1 5.7 / 65.5 / 28.8	4.5	19.9 6.4 / 67.2 / 26.3	3.2
製造業	27.6 5.5 / 61.4 / 33.1	25.5 4.1 / 66.3 / 29.6	2.1	23.1 4.6 / 67.6 / 27.7	2.4
西陣	21.4 0.0 / 78.6 / 21.4	19.2 0.0 / 80.8 / 19.2	2.2	19.2 0.0 / 80.8 / 19.2	0.0
染色	20.7 6.9 / 65.5 / 27.6	22.2 2.8 / 72.2 / 25.0	1.5	18.9 5.4 / 70.3 / 24.3	3.3
印刷	57.1 0.0 / 42.9 / 57.1	42.3 0.0 / 57.7 / 42.3	14.8	41.7 0.0 / 58.3 / 41.7	0.6
窯業	36.0 4.0 / 56.0 / 40.0	23.1 3.8 / 69.2 / 26.9	12.9	16.0 4.0 / 76.0 / 20.0	7.1
化学	11.1 14.8 / 59.3 / 25.9	34.7 3.8 / 57.7 / 38.5	23.6	23.1 3.8 / 69.2 / 26.9	11.6
金属	36.4 9.1 / 45.5 / 45.5	23.1 11.5 / 53.8 / 34.6	13.3	34.6 7.7 / 50.0 / 42.3	11.5
機械	27.0 10.8 / 51.4 / 37.8	29.7 5.4 / 59.5 / 35.1	2.7	28.6 5.7 / 60.0 / 34.3	1.1
その他	17.5 0.0 / 82.5 / 17.5	15.0 5.0 / 75.0 / 20.0	2.5	10.2 7.7 / 74.4 / 17.9	4.8
非製造業	27.8 7.7 / 56.8 / 35.5	20.5 7.4 / 64.6 / 27.9	7.3	16.6 8.3 / 66.8 / 24.9	3.9
卸売業	11.9 14.3 / 59.5 / 26.2	21.2 9.6 / 59.6 / 30.8	9.3	15.3 13.5 / 57.7 / 28.8	5.9
小売業	30.7 10.8 / 47.7 / 41.5	19.0 10.3 / 60.3 / 29.3	11.7	15.2 8.5 / 67.8 / 23.7	3.8
情報通信業	10.5 0.0 / 89.5 / 10.5	21.0 5.3 / 68.4 / 26.3	10.5	10.5 5.3 / 78.9 / 15.8	10.5
飲食店, 宿泊業	12.1 12.1 / 63.6 / 24.2	3.1 6.3 / 84.4 / 9.4	9.0	3.2 9.7 / 83.9 / 6.5	6.3
サービス業	44.1 0.0 / 55.9 / 44.1	27.0 2.7 / 67.6 / 29.7	17.1	29.7 2.7 / 64.9 / 32.4	2.7
建設業	55.6 0.0 / 44.4 / 55.6	32.2 6.5 / 54.8 / 38.7	23.4	29.0 6.5 / 58.1 / 35.5	3.2
観光関連 企業	17.7 8.8 / 64.7 / 26.5	7.5 5.0 / 82.5 / 12.5	10.2	5.1 7.7 / 79.5 / 12.8	2.4

【 在庫】

実績値

DIは10.7と、前期(9.7)より1.0ポイント上昇した。全体的に過剰感がやや増加した。特に、製造業の窯業(今期:50.0,前期:32.0)は18.0ポイント上昇し、過剰感が高まった。また、西陣(今期:42.3,前期:37.0)は5.3ポイント上昇し、前期に引き続き過剰感が高い。非製造業では、建設業(今期:3.4,前期:13.6)が17.0ポイント下降し、不足超に転じた。

予測値

DIは6.0と、今期(10.7)より4.7ポイント下降すると予測している。製造業では西陣(今期:42.3,来期:42.3),窯業(今期:50.0,来期:44.0)等過剰感が高い業種もあるが、窯業は6.0ポイント下降するとし、全体的には非製造業も含め過剰感は緩和すると予測している。

【 在庫】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	過剰 / 適正 / 不足	過剰 / 適正 / 不足		過剰 / 適正 / 不足	
全業種	9.7 16.4 / 76.9 / 6.7	10.7 16.2 / 78.3 / 5.5	1.0	6.0 12.9 / 80.2 / 6.9	4.7
製造業	12.4 18.0 / 76.4 / 5.6	14.8 20.3 / 74.3 / 5.5	2.4	11.6 18.4 / 74.8 / 6.8	3.2
西陣	37.0 37.0 / 63.0 / 0.0	42.3 42.3 / 57.7 / 0.0	5.3	42.3 42.3 / 57.7 / 0.0	0.0
染色	7.7 15.4 / 76.9 / 7.7	0.0 12.5 / 75.0 / 12.5	7.7	3.1 9.4 / 78.1 / 12.5	3.1
印刷	7.4 7.4 / 92.6 / 0.0	8.4 16.7 / 75.0 / 8.3	1.0	8.4 16.7 / 75.0 / 8.3	0.0
窯業	32.0 40.0 / 52.0 / 8.0	50.0 53.8 / 42.3 / 3.8	18.0	44.0 52.0 / 40.0 / 8.0	6.0
化学	11.1 11.1 / 88.9 / 0.0	11.1 11.1 / 88.9 / 0.0	0.0	7.4 11.1 / 85.2 / 3.7	3.7
金属	14.3 0.0 / 85.7 / 14.3	8.3 4.2 / 83.3 / 12.5	6.0	4.1 4.2 / 87.5 / 8.3	4.2
機械	2.6 13.2 / 71.1 / 15.8	5.3 13.2 / 78.9 / 7.9	7.9	0.0 13.9 / 72.2 / 13.9	5.3
その他	19.0 19.0 / 81.0 / 0.0	15.0 15.0 / 85.0 / 0.0	4.0	7.5 7.5 / 92.5 / 0.0	7.5
非製造業	6.5 14.5 / 77.5 / 8.0	6.0 11.6 / 82.8 / 5.6	0.5	0.0 6.9 / 86.1 / 6.9	6.0
卸売業	17.7 24.4 / 68.9 / 6.7	20.7 24.5 / 71.7 / 3.8	3.0	7.5 13.2 / 81.1 / 5.7	13.2
小売業	10.8 20.0 / 70.8 / 9.2	6.9 10.3 / 86.2 / 3.4	3.9	3.4 6.8 / 89.8 / 3.4	3.5
情報通信業	6.7 0.0 / 93.3 / 6.7	0.0 0.0 / 100.0 / 0.0	6.7	0.0 0.0 / 100.0 / 0.0	0.0
飲食店, 宿泊業	0.0 7.4 / 85.2 / 7.4	6.9 6.9 / 93.1 / 0.0	6.9	0.0 0.0 / 100.0 / 0.0	6.9
サービス業	15.4 0.0 / 84.6 / 15.4	10.0 0.0 / 90.0 / 10.0	5.4	13.3 0.0 / 86.7 / 13.3	3.3
建設業	13.6 13.6 / 86.4 / 0.0	3.4 13.8 / 69.0 / 17.2	17.0	6.9 13.8 / 65.5 / 20.7	3.5
観光関連 企業	9.1 15.2 / 78.8 / 6.1	5.4 10.8 / 83.8 / 5.4	3.7	0.0 5.6 / 88.9 / 5.6	5.4

【 雇 用 人 員 】

実績値

DIは0.4と、前期（ 1.7）より2.1ポイント上昇した。今期は過剰感がやや強まった。製造業では窯業（今期：12.0，前期：0.0）が12.0ポイント上昇し、非製造業では小売業（今期：10.0，前期：0.0）が10.0ポイント上昇した。

予測値

DIはマイナス2.1と、今期（0.4）より2.5ポイント下降すると予測している。今期よりやや不足すると予測している業種が多い。特に、窯業（今期：12.0，来期： 4.3）が16.3ポイント，その他の製造業（今期：7.5，来期： 10.0）が17.5ポイント下降すると予測し，過剰感から不足感に変わるとみている。

【 雇 用 人 員 】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	過剰 / 適正 / 不足	過剰 / 適正 / 不足		過剰 / 適正 / 不足	
全業種	1.7 9.5 / 79.3 / 11.2	0.4 12.9 / 74.6 / 12.5	2.1	2.1 10.4 / 77.1 / 12.5	2.5
製造業	1.7 11.4 / 75.4 / 13.1	1.6 13.6 / 71.2 / 15.2	0.1	3.8 11.4 / 73.4 / 15.2	2.2
西 陣	18.5 22.2 / 74.1 / 3.7	11.5 19.2 / 73.1 / 7.7	7.0	8.0 16.0 / 76.0 / 8.0	3.5
染 色	3.4 17.2 / 69.0 / 13.8	2.7 10.8 / 75.7 / 13.5	6.1	5.6 13.9 / 77.8 / 8.3	8.3
印 刷	10.7 14.3 / 82.1 / 3.6	12.5 16.7 / 79.2 / 4.2	1.8	4.1 20.8 / 62.5 / 16.7	8.4
窯 業	0.0 8.0 / 84.0 / 8.0	12.0 20.0 / 72.0 / 8.0	12.0	4.3 8.7 / 78.3 / 13.0	16.3
化 学	0.0 11.1 / 77.8 / 11.1	7.4 11.1 / 70.4 / 18.5	7.4	3.7 11.1 / 74.1 / 14.8	3.7
金 属	31.9 4.5 / 59.1 / 36.4	30.8 3.8 / 61.5 / 34.6	1.1	11.5 7.7 / 73.1 / 19.2	19.3
機 械	16.6 5.6 / 72.2 / 22.2	13.2 10.5 / 65.8 / 23.7	3.4	13.9 8.3 / 69.4 / 22.2	0.7
その他	0.0 9.5 / 81.0 / 9.5	7.5 17.5 / 72.5 / 10.0	7.5	10.0 7.5 / 75.0 / 17.5	17.5
非製造業	1.6 7.7 / 82.9 / 9.3	2.4 12.2 / 78.0 / 9.8	4.0	0.4 9.5 / 80.6 / 9.9	2.8
卸売業	8.9 13.3 / 82.2 / 4.4	9.5 17.0 / 75.5 / 7.5	0.6	7.6 15.1 / 77.4 / 7.5	1.9
小売業	0.0 2.9 / 94.3 / 2.9	10.0 13.3 / 83.3 / 3.3	10.0	5.0 8.3 / 88.3 / 3.3	5.0
情報通信業	20.0 5.0 / 70.0 / 25.0	20.0 5.0 / 70.0 / 25.0	0.0	25.0 0.0 / 75.0 / 25.0	5.0
飲食店， 宿泊業	11.1 8.3 / 72.2 / 19.4	2.8 8.6 / 80.0 / 11.4	8.3	5.9 2.9 / 88.2 / 8.8	3.1
サービス業	0.0 8.9 / 82.2 / 8.9	3.9 5.9 / 84.3 / 9.8	3.9	4.0 6.0 / 84.0 / 10.0	0.1
建設業	0.0 10.0 / 80.0 / 10.0	5.7 20.0 / 65.7 / 14.3	5.7	2.9 20.0 / 62.9 / 17.1	2.8
観光関連 企業	5.4 10.8 / 73.0 / 16.2	0.0 10.0 / 80.0 / 10.0	5.4	10.0 2.5 / 85.0 / 12.5	10.0

【 資金繰り】

実績値

D Iはマイナス 25.8 と、前期（ 25.4）より 0.4 ポイント下降し、前期と同水準ながら「苦」とする企業が増えた業種がやや増加した。特に、その他の製造業（今期： 40.0，前期： 28.5）が 11.5 ポイント下降し、やや厳しくなっている。一方、西陣（今期：0.0，前期： 14.2）は 14.2 ポイント上昇し、「苦」とする企業が大きく減少した。

予測値

D Iはマイナス 26.2 と、今期（ 25.8）とほぼ同水準で推移すると予測している。その中で、製造業はやや苦しくなるとみる業種が多い。特に、化学（今期： 11.1，来期： 22.2）は 11.1 ポイント下降するとし、やや逼迫すると予測している。

【 資金繰り】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	楽 / 普通 / 苦	楽 / 普通 / 苦		楽 / 普通 / 苦	
全業種	25.4 7.2 / 60.2 / 32.6	25.8 6.8 / 60.6 / 32.6	0.4	26.2 6.2 / 61.4 / 32.4	0.4
製造業	19.3 9.6 / 61.5 / 28.9	20.9 8.2 / 62.7 / 29.1	1.6	24.8 6.8 / 61.6 / 31.6	3.9
西 陣	14.2 17.9 / 50.0 / 32.1	0.0 15.4 / 69.2 / 15.4	14.2	0.0 16.0 / 68.0 / 16.0	0.0
染 色	17.3 10.3 / 62.1 / 27.6	16.7 8.3 / 66.7 / 25.0	0.6	20.6 5.9 / 67.6 / 26.5	3.9
印 刷	17.8 3.6 / 75.0 / 21.4	27.0 3.8 / 65.4 / 30.8	9.2	36.0 0.0 / 64.0 / 36.0	9.0
窯 業	44.0 4.0 / 48.0 / 48.0	48.0 8.0 / 36.0 / 56.0	4.0	50.0 8.3 / 33.3 / 58.3	2.0
化 学	7.4 14.8 / 63.0 / 22.2	11.1 7.4 / 74.1 / 18.5	3.7	22.2 3.7 / 70.4 / 25.9	11.1
金 属	13.6 9.1 / 68.2 / 22.7	11.5 15.4 / 57.7 / 26.9	2.1	19.3 11.5 / 57.7 / 30.8	7.8
機 械	10.5 13.2 / 63.2 / 23.7	10.5 7.9 / 73.7 / 18.4	0.0	8.4 8.3 / 75.0 / 16.7	2.1
その他	28.5 4.8 / 61.9 / 33.3	40.0 2.5 / 55.0 / 42.5	11.5	42.5 2.5 / 52.5 / 45.0	2.5
非製造業	31.3 4.9 / 58.9 / 36.2	30.5 5.5 / 58.5 / 36.0	0.8	27.6 5.6 / 61.2 / 33.2	2.9
卸売業	15.9 11.4 / 61.4 / 27.3	17.0 9.4 / 64.2 / 26.4	1.1	13.5 9.6 / 67.3 / 23.1	3.5
小売業	41.5 1.4 / 55.7 / 42.9	40.0 1.7 / 56.7 / 41.7	1.5	31.7 3.3 / 61.7 / 35.0	8.3
情報通信業	25.0 10.0 / 55.0 / 35.0	25.0 5.0 / 65.0 / 30.0	0.0	25.0 5.0 / 65.0 / 30.0	0.0
飲食店、 宿泊業	33.3 5.6 / 55.6 / 38.9	37.1 8.6 / 45.7 / 45.7	3.8	29.4 5.9 / 58.8 / 35.3	7.7
サービス業	30.4 0.0 / 69.6 / 30.4	25.5 5.9 / 62.7 / 31.4	4.9	30.0 6.0 / 58.0 / 36.0	4.5
建設業	33.3 6.7 / 53.3 / 40.0	38.3 2.9 / 55.9 / 41.2	5.0	38.3 2.9 / 55.9 / 41.2	0.0
観光関連 企業	32.4 5.4 / 56.8 / 37.8	31.7 9.8 / 48.8 / 41.5	0.7	22.5 10.0 / 57.5 / 32.5	9.2

【 他社との競争】

実績値

D Iは43.7と、前期(46.7)より3.0ポイント下降し、競争がやや緩和されたが、依然として厳しい状態が続いている。染色(今期:18.9,前期:48.3)は、29.4ポイントと大きく下降し、競争状態がやや緩和された。一方、さらに激化したのはその他の製造業(今期:42.5,前期:30.9)と建設業(今期:68.5,前期:53.3)でそれぞれ11.6ポイント、15.2ポイント上昇した。特に建設業のD Iは、最も高水準であった印刷(66.6)を抜き、競争の厳しさが窺える。

予測値

D Iは45.1と、今期(43.7)より1.4ポイント上昇するとし、やや激化すると予測している。

〔他社との競争〕

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	激化 / 不変 / 緩和	激化 / 不変 / 緩和		激化 / 不変 / 緩和	
全業種	46.7 48.5 / 49.7 / 1.8	43.7 46.3 / 51.0 / 2.6	3.0	45.1 47.2 / 50.7 / 2.1	1.4
製造業	43.1 44.4 / 54.4 / 1.3	35.9 38.8 / 58.3 / 2.9	7.2	40.3 42.4 / 55.5 / 2.1	4.4
西陣	46.4 46.4 / 53.6 / 0.0	34.7 38.5 / 57.7 / 3.8	11.7	38.5 42.3 / 53.8 / 3.8	3.8
染色	48.3 48.3 / 51.7 / 0.0	18.9 24.3 / 70.3 / 5.4	29.4	26.5 29.4 / 67.6 / 2.9	7.6
印刷	82.1 82.1 / 17.9 / 0.0	66.6 70.8 / 25.0 / 4.2	15.5	72.0 72.0 / 28.0 / 0.0	5.4
窯業	28.0 28.0 / 72.0 / 0.0	28.0 32.0 / 64.0 / 4.0	0.0	33.3 37.5 / 58.3 / 4.2	5.3
化学	33.3 37.0 / 59.3 / 3.7	23.1 26.9 / 69.2 / 3.8	10.2	27.0 30.8 / 65.4 / 3.8	3.9
金属	31.8 31.8 / 68.2 / 0.0	38.5 42.3 / 53.8 / 3.8	6.7	42.4 46.2 / 50.0 / 3.8	3.9
機械	44.7 44.7 / 55.3 / 0.0	38.9 38.9 / 61.1 / 0.0	5.8	37.1 37.1 / 62.9 / 0.0	1.8
その他	30.9 35.7 / 59.5 / 4.8	42.5 42.5 / 57.5 / 0.0	11.6	47.5 47.5 / 52.5 / 0.0	5.0
非製造業	50.0 52.4 / 45.2 / 2.4	51.2 53.6 / 44.0 / 2.4	1.2	49.8 51.8 / 46.1 / 2.0	1.4
卸売業	44.5 48.9 / 46.7 / 4.4	49.0 52.8 / 43.4 / 3.8	4.5	42.3 48.1 / 46.2 / 5.8	6.7
小売業	57.1 60.0 / 37.1 / 2.9	55.0 56.7 / 41.7 / 1.7	2.1	57.9 57.9 / 42.1 / 0.0	2.9
情報通信業	25.0 30.0 / 65.0 / 5.0	30.0 30.0 / 70.0 / 0.0	5.0	35.0 35.0 / 65.0 / 0.0	5.0
飲食店、 宿泊業	33.3 36.1 / 61.1 / 2.8	32.4 32.4 / 67.6 / 0.0	0.9	33.3 33.3 / 66.7 / 0.0	0.9
サービス業	66.0 66.0 / 34.0 / 0.0	58.0 62.0 / 34.0 / 4.0	8.0	54.2 56.3 / 41.7 / 2.1	3.8
建設業	53.3 53.3 / 46.7 / 0.0	68.5 71.4 / 25.7 / 2.9	15.2	65.7 68.6 / 28.6 / 2.9	2.8
観光関連 企業	40.5 43.2 / 54.1 / 2.7	39.0 43.9 / 51.2 / 4.9	1.5	33.4 38.5 / 56.4 / 5.1	5.6

【 受注残】

実績値

D Iはマイナス 12.4 と、前期(16.8)より 4.4 ポイント上昇した。特に、金属(今期：28.0，前期：4.5)は 23.5 ポイント，その他の製造業(今期： 15.8，前期： 36.1)は 20.3 ポイント上昇し，受注残を大きく増加させた。

観光関連(今期： 30.8，前期： 14.3)は 16.5 ポイント下降し，増加企業がゼロとなった。

予測値

D Iはマイナス 16.9 と，今期(12.4)より 4.5 ポイント下降すると予測している。特に，金属(今期：28.0，来期：0.0)は 28.0 ポイント，機械(今期：18.4，来期： 5.6)は 24.0 ポイント下降すると予測し，受注状況が厳しくなるとみている。

観光関連(今期： 30.8，来期： 23.1)は 7.7 ポイント上昇すると予測し，受注状況はやや改善するとみている。

【 受注残】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少		増加 / 不変 / 減少	
製造業	16.8 19.6 / 44.0 / 36.4	12.4 21.4 / 44.9 / 33.8	4.4	16.9 16.1 / 50.9 / 33.0	4.5
西陣	53.9 3.8 / 38.5 / 57.7	44.0 8.0 / 40.0 / 52.0	9.9	36.0 8.0 / 48.0 / 44.0	8.0
染色	25.9 18.5 / 37.0 / 44.4	35.3 11.8 / 41.2 / 47.1	9.4	32.4 8.8 / 50.0 / 41.2	2.9
印刷	28.0 8.0 / 56.0 / 36.0	24.0 8.0 / 60.0 / 32.0	4.0	28.0 8.0 / 56.0 / 36.0	4.0
窯業	40.0 12.0 / 36.0 / 52.0	39.1 8.7 / 43.5 / 47.8	0.9	26.1 17.4 / 39.1 / 43.5	13.0
化学	3.9 23.1 / 57.7 / 19.2	3.8 26.9 / 50.0 / 23.1	0.1	0.0 24.0 / 52.0 / 24.0	3.8
金属	4.5 31.8 / 40.9 / 27.3	28.0 44.0 / 40.0 / 16.0	23.5	0.0 20.8 / 58.3 / 20.8	28.0
機械	28.9 50.0 / 28.9 / 21.1	18.4 39.5 / 39.5 / 21.1	10.5	5.6 25.0 / 44.4 / 30.6	24.0
その他	36.1 2.8 / 58.3 / 38.9	15.8 18.4 / 47.4 / 34.2	20.3	10.5 15.8 / 57.9 / 26.3	5.3
観光関連 企業	14.3 21.4 / 42.9 / 35.7	30.8 0.0 / 69.2 / 30.8	16.5	23.1 7.7 / 61.5 / 30.8	7.7

【 原材料価格】

実績値

D Iは41.4と、前期(39.7)より1.7ポイント上昇した。鉄鋼、非鉄金属、原油の値上げによる影響は前期に大きく受けており、今期は前期の価格上昇が今期も続いている状況である。その中で、印刷(今期：8.0、前期：27.0)は前期あった製紙メーカーの値上げ要請も今期は収まり、19.0ポイント下降した。

観光関連(今期：7.7、前期：11.7)は4.0ポイント下降し、他の業種で受けている価格上昇の影響はない。

予測値

D Iは38.9と、今期(41.4)より2.5ポイント下降すると予測している。その中で、機械(今期：66.7、来期：44.1)は22.6ポイント下降すると予測しており、原材料の上昇傾向がやや緩和すると予測している。一方、印刷(今期：8.0、来期：25.0)は17.0ポイント上昇すると予測している。

観光関連(今期：7.7、来期：30.8)は23.1ポイント上昇すると予測しており、他の業種の上昇の影響を受けるとみている。

【 原材料価格】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降		上昇 / 不変 / 下降	
製造業	39.7 42.8 / 54.1 / 3.1	41.4 42.3 / 56.8 / 0.9	1.7	38.9 41.1 / 56.7 / 2.2	2.5
西陣	3.7 7.4 / 88.9 / 3.7	8.0 8.0 / 92.0 / 0.0	4.3	4.0 4.0 / 96.0 / 0.0	4.0
染色	11.1 18.5 / 74.1 / 7.4	20.6 23.5 / 73.5 / 2.9	9.5	17.2 22.9 / 71.4 / 5.7	3.4
印刷	27.0 30.8 / 65.4 / 3.8	8.0 12.0 / 84.0 / 4.0	19.0	25.0 25.0 / 75.0 / 0.0	17.0
窯業	16.0 20.0 / 76.0 / 4.0	12.5 12.5 / 87.5 / 0.0	3.5	26.1 26.1 / 73.9 / 0.0	13.6
化学	57.7 57.7 / 42.3 / 0.0	65.4 65.4 / 34.6 / 0.0	7.7	68.0 68.0 / 32.0 / 0.0	2.6
金属	77.3 77.3 / 22.7 / 0.0	88.5 88.5 / 11.5 / 0.0	11.2	80.8 80.8 / 19.2 / 0.0	7.7
機械	76.3 78.9 / 18.4 / 2.6	66.7 66.7 / 33.3 / 0.0	9.6	44.1 52.9 / 38.2 / 8.8	22.6
その他	39.5 42.1 / 55.3 / 2.6	50.0 50.0 / 50.0 / 0.0	10.5	46.2 46.2 / 53.8 / 0.0	3.8
観光関連 企業	11.7 23.5 / 64.7 / 11.8	7.7 15.4 / 76.9 / 7.7	4.0	30.8 30.8 / 69.2 / 0.0	23.1

【 生産設備】

実績値

DIはマイナス2.9と、前期（1.3）より1.6ポイント下降した。その中で、化学（今期：30.8，前期：7.7）は23.1ポイント下降し、不足傾向が一段と強まった。また、印刷（今期：11.5，前期：0.0）も単価の切り下げ要求が厳しく受注を多くこなす必要があり、生産設備がやや不足気味となり、11.5ポイント下降した。

観光関連（今期：15.4，前期：17.6）では、33.0ポイント下降し、業況の良い企業が不足とした。

予測値

DIはマイナス1.3と、今期（2.9）より1.6ポイント上昇すると予測している。その中で、金属（今期：19.3，来期：7.7）は不足気味がやや減少し、11.6ポイント上昇すると予測している。

観光関連（今期：15.4，来期：15.4）は今期と同様に推移すると予測している。

【 生産設備】

	16.4-6月期実績 (B)	16.7-9月期実績 (A)	A - B	16.10-12月期予測 (C)	C - A
	過剰 / 適正 / 不足	過剰 / 適正 / 不足		過剰 / 適正 / 不足	
製造業	1.3 12.8 / 73.1 / 14.1	2.9 12.8 / 72.0 / 15.7	1.6	1.3 13.8 / 71.1 / 15.1	1.6
西陣	22.2 25.9 / 70.4 / 3.7	24.0 28.0 / 68.0 / 4.0	1.8	24.0 28.0 / 68.0 / 4.0	0.0
染色	18.5 25.9 / 66.7 / 7.4	20.0 25.7 / 68.6 / 5.7	1.5	17.1 25.7 / 65.7 / 8.6	2.9
印刷	0.0 12.5 / 75.0 / 12.5	11.5 7.7 / 73.1 / 19.2	11.5	8.0 8.0 / 76.0 / 16.0	3.5
窯業	4.0 16.0 / 72.0 / 12.0	8.7 13.0 / 82.6 / 4.3	4.7	13.1 17.4 / 78.3 / 4.3	4.4
化学	7.7 7.7 / 76.9 / 15.4	30.8 0.0 / 69.2 / 30.8	23.1	36.0 0.0 / 64.0 / 36.0	5.2
金属	18.2 9.1 / 63.6 / 27.3	19.3 3.8 / 73.1 / 23.1	1.1	7.7 7.7 / 76.9 / 15.4	11.6
機械	18.4 5.3 / 71.1 / 23.7	10.8 10.8 / 67.6 / 21.6	7.6	8.6 11.4 / 68.6 / 20.0	2.2
その他	5.2 5.3 / 84.2 / 10.5	7.9 7.9 / 76.3 / 15.8	2.7	5.3 10.5 / 73.7 / 15.8	2.6
観光関連 企業	17.6 17.6 / 82.4 / 0.0	15.4 7.7 / 69.2 / 23.1	33.0	15.4 7.7 / 69.2 / 23.1	0.0

【 設備投資】

実績値

「した」企業は21.2%に達し、前期よりさらに1.7%上昇した。金属が40.0%、機械が38.9%と水準がかなり高く、金属は前期(22.7%)より17.3%、機械は前期(24.3%)より14.6%上昇し、設備投資が活発化した。化学(26.9%)は前期(40.0%)高い水準にあったものの今期は13.1%下降した。しかし、20%台後半の高い水準にあり、投資意欲は活発である。

観光関連(今期:15.4%、前期:18.8%)は3.4%下降し、投資意欲はやや後退した。

予測値

「する」とする企業は17.2%で、今期(21.2%)より4.0%下降すると予測している。多くの業種が比率を落とす予測をしているが、化学(今期:26.9%、来期:32.0%)は今期比率を落としたが来期は高い水準の投資意欲がうかがえる。

観光関連(今期:15.4、来期:7.7)は「する」とする企業は7.7%で、今期より7.7%下降すると予測しており、設備投資には慎重である。

【 設備投資】

	16. 4-6月期実績 (B)	16. 7-9月期実績 (A)	A - B	16. 10-12月期予測 (C)	C - A
製造業	19.5	21.2	1.7	17.2	4.0
西陣	7.4	16.0	8.6	4.2	11.8
染色	11.5	8.8	2.7	9.4	0.6
印刷	23.1	12.0	11.1	12.0	0.0
窯業	18.2	18.2	0.0	13.0	5.2
化学	40.0	26.9	13.1	32.0	5.1
金属	22.7	40.0	17.3	24.0	16.0
機械	24.3	38.9	14.6	32.4	6.5
その他	11.4	10.5	0.9	10.3	0.2
観光関連 企業	18.8	15.4	3.4	7.7	7.7

「した」及び「する」と回答した企業の割合(%)

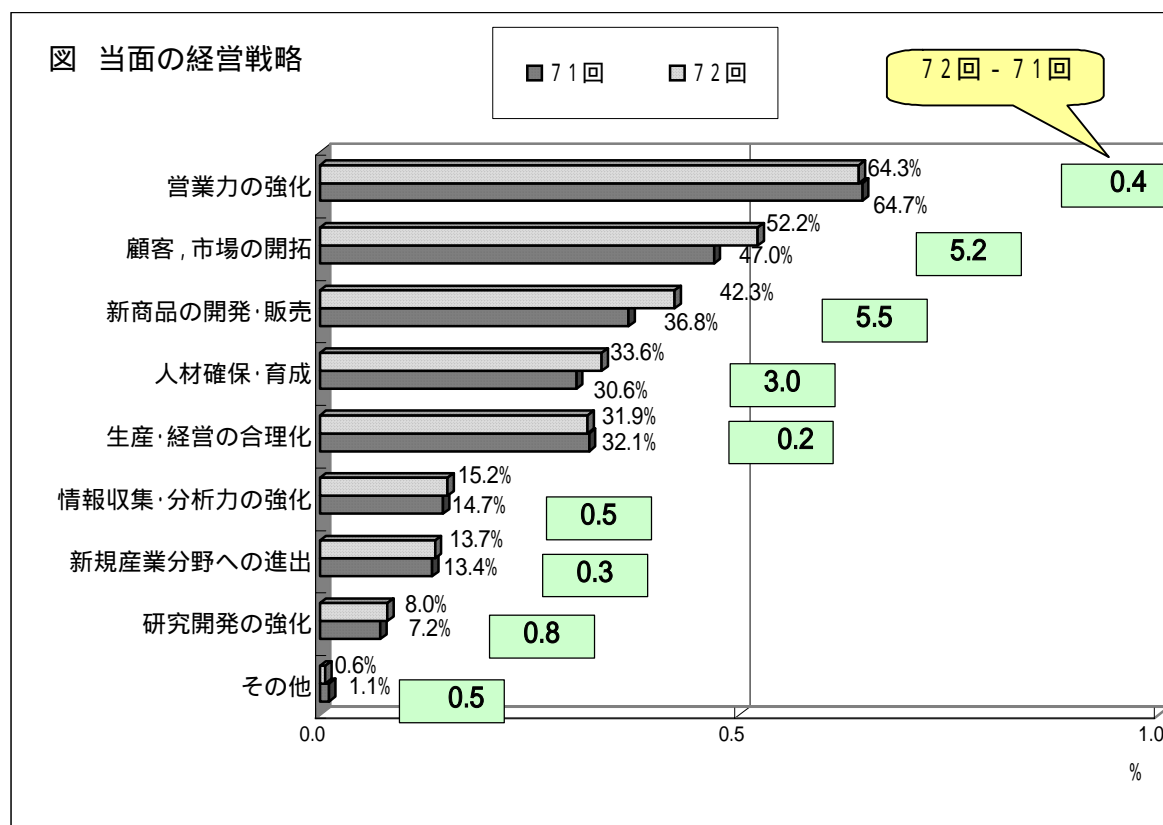
(2) 当面の経営戦略

当面の経営戦略は、今回も「営業力の強化」(今期：64.3%，前期：64.7%)が0.4%比率を落としたものの、最も比率が高く、次いで2位の「顧客、市場の開拓」(今期：52.2%，前期：47.0%)が5.2ポイント、3位の「新商品の開発・販売」(今期：42.3%，前期：36.8%)が5.5ポイントと比率を比較的大きく伸ばした。各戦略の順位は前回4位の「生産・経営の合理化」(今期：31.9%，前期：32.1%)が0.2%下降し、5位の「人材確保・育成」(今期：33.6%，前期：30.6%)が3.0%上昇し、4位と5位の順位が入れ替わった。(図)

業種別にみると、「営業力の強化」の比率が最も高い業種は印刷(62.5%)、機械(71.4%)、卸売業(80.8%)、小売業(66.7%)、情報通信業(65.0%)、飲食店・宿泊業(59.4%)、サービス業(72.0%)、建設業(85.3%)である。非製造業のすべての業種で「営業力の強化」の比率が最も高い。「新商品の開発・販売」の比率が最も高い業種は西陣(69.2%)、染色(55.2%)、窯業(60.9%)、化学(61.5%)、その他の製造業(66.7%)で、「生産・経営の合理化」の比率が最も高い業種は金属(69.2%)である。製造業では「新商品の開発・販売」の比率が最も高い業種が多い。(表A)

観光関連では「営業力の強化」と「新商品の開発・販売」の比率が最も高い。

規模別にみると、すべての規模で「営業力の強化」の比率が最も高い。(表B)



表A 当面の経営戦略（業種別）

	全体	製造業								計	卸売業	小売業	情報通信業	飲食店、宿泊業	サービス業	建設業
		西陣	染色	印刷	窯業	化学	金属	機械	その他							
営業力の強化	304 64.3%	12 46.2%	14 48.3%	15 62.5%	12 52.2%	13 50.0%	16 61.5%	25 71.4%	20 51.3%	127 55.7%	42 80.8%	38 66.7%	13 65.0%	19 59.4%	36 72.0%	29 85.3%
生産・経営の合理化	151 31.9%	11 42.3%	9 31.0%	9 37.5%	6 26.1%	9 34.6%	18 69.2%	17 48.6%	13 33.3%	92 40.4%	12 23.1%	9 15.8%	1 5.0%	11 34.4%	12 24.0%	14 41.2%
人材確保・育成	159 33.6%	7 26.9%	9 31.0%	13 54.2%	2 8.7%	8 30.8%	14 53.8%	16 45.7%	8 20.5%	77 33.8%	18 34.6%	12 21.1%	12 60.0%	14 43.8%	12 24.0%	14 41.2%
新規産業分野への進出	65 13.7%	7 26.9%	5 17.2%	4 16.7%	1 4.3%	5 19.2%	2 7.7%	6 17.1%	4 10.3%	34 14.9%	13 25.0%	4 7.0%	1 5.0%	0 0.0%	8 16.0%	5 14.7%
顧客、市場の開拓	247 52.2%	9 34.6%	13 44.8%	14 58.3%	13 56.5%	10 38.5%	8 30.8%	17 48.6%	18 46.2%	102 44.7%	35 67.3%	34 59.6%	7 35.0%	18 56.3%	30 60.0%	21 61.8%
新商品の開発・販売	200 42.3%	18 69.2%	16 55.2%	6 25.0%	14 60.9%	16 61.5%	5 19.2%	14 40.0%	26 66.7%	115 50.4%	24 46.2%	22 38.6%	7 35.0%	11 34.4%	16 32.0%	5 14.7%
研究開発の強化	38 8.0%	0 0.0%	4 13.8%	2 8.3%	3 13.0%	8 30.8%	7 26.9%	5 14.3%	1 2.6%	30 13.2%	3 5.8%	0 0.0%	3 15.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.9%
情報収集・分析力の強化	72 15.2%	1 3.8%	3 10.3%	4 16.7%	2 8.7%	2 7.7%	5 19.2%	4 11.4%	7 17.9%	28 12.3%	11 21.2%	12 21.1%	5 25.0%	0 0.0%	9 18.0%	7 20.6%
その他	3 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%
(回答企業数)	473	26	29	24	23	26	26	35	39	228	52	57	20	32	50	34
無回答	29	0	8	2	3	1	0	3	1	18	1	4	0	4	1	1

表B 当面の経営戦略（規模別）

	全体	規模別								観光
		0-4人	5-9人	10-19人	20-29人	30-49人	50-99人	100人以上		
営業力の強化	304 64.3%	52 56.5%	71 62.3%	66 73.3%	38 63.3%	33 64.7%	26 61.9%	18 75.0%	22 55.0%	
生産・経営の合理化	151 31.9%	16 17.4%	32 28.1%	29 32.2%	22 36.7%	22 43.1%	20 47.6%	10 41.7%	13 32.5%	
人材確保・育成	159 33.6%	10 10.9%	30 26.3%	40 44.4%	27 45.0%	19 37.3%	23 54.8%	10 41.7%	14 35.0%	
新規産業分野への進出	65 13.7%	12 13.0%	14 12.3%	13 14.4%	13 21.7%	4 7.8%	6 14.3%	3 12.5%	5 12.5%	
顧客、市場の開拓	247 52.2%	51 55.4%	59 51.8%	46 51.1%	29 48.3%	27 52.9%	22 52.4%	13 54.2%	26 65.0%	
新商品の開発・販売	200 42.3%	44 47.8%	46 40.4%	36 40.0%	21 35.0%	25 49.0%	18 42.9%	10 41.7%	22 55.0%	
研究開発の強化	38 8.0%	4 4.3%	4 3.5%	5 5.6%	3 5.0%	7 13.7%	9 21.4%	6 25.0%	1 2.5%	
情報収集・分析力の強化	72 15.2%	14 15.2%	20 17.5%	9 10.0%	8 13.3%	5 9.8%	11 26.2%	5 20.8%	5 12.5%	
その他	3 0.6%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(回答企業数)	473	92	114	90	60	51	42	24	40	
無回答	29	10	8	6	1	1	2	1	2	

参考:各分野による調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
明治以前	17 (3.4)
明治	19 (3.8)
大正	12 (2.4)
昭和19年以前	44 (8.8)
20~39年	179 (35.7)
40~49年	95 (19.6)
昭和50年以降	79 (15.7)
平成	57 (11.4)
合計	502 (100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
法人	475 (94.6)
個人	27 (5.4)
合計	502 (100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
製造業	246 (49.0)	卸売業	53 (10.6)
西陣	26 (5.2)	小売業	61 (12.2)
染色	37 (7.4)	情報通信業	20 (4.0)
印刷	26 (5.2)	飲食, 宿泊業	36 (7.2)
窯業	26 (5.2)	サービス	51 (10.2)
化学	27 (5.4)	建設業	35 (7.0)
金属	26 (5.2)	不明	0 (0.0)
機械	38 (7.6)	合計	502 (100%)
その他	40 (8.0)		

資本金規模別企業数

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
~ 100万円	1 (0.2)	3001~5000	48 (10.1)
101 ~ 200	1 (0.2)	5001~1億円	26 (5.5)
201 ~ 500	57 (12.0)	1億円超	9 (1.9)
501 ~ 1000	208 (43.8)	合計	475 (100%)
1001~3000	125 (26.3)		

* 法人のみ

従業員規模別企業数

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
0 ~ 4人	102 (20.3)	30~49人	52 (10.4)
5 ~ 9人	122 (24.3)	50~99人	44 (8.8)
10~19人	96 (19.1)	100人以上	25 (5.0)
20~29人	61 (12.2)	合計	502 (100%)